

提案名：繁華街 FAN をつないで FUN がいっぱい

提案団体名：宇都宮大学 都市計画研究室	
所属	：宇都宮大学 地域デザイン科学部
メンバー	：◎浦橋誠，佐藤嘉峻，斎藤俊介，野原魁人
指導教員	：大森伸宣，長田哲平

【提案の要旨】

地方創生の一環として近年、「ナイトタイムエコノミー」が地方経済活性化の重要なワードとなっている。宇都宮市の中心市街地には、かつて宇都宮の夜の顔と言われた 繁華街が存在しているが現状では活気が失われつつある。

商店街や繁華街に存在する居酒屋やスナック，バーには常連さん（FAN）が数多く存在する。これらの地域の回遊性を向上させることにより FAN 同士がつながり，FUN を生み出すことを目的とする。また、新たな FAN を増やし中心市街地全体の活性化を促進させる。

中心市街地の各地点（泉町、オリオン通り等）で夜間の通行量を計測し現状を把握した。また、繁華街を訪れた人々に対し印象についてのヒアリングを行い回遊性向上のための方法を考察する。

本提案では、繁華街での余暇活動をより魅力的にするためのアプリケーション提案及び繁華街に一体感を持たせられるようなイベントの考案を行う。

繁華街FANをつないで FUNがいっぱい

『大学生によるまちづくり提案2020』

宇都宮大学 都市計画研究室

背景 ナイトタイムエコノミー

- ・近年、夜間の余暇活動が地方経済活性化の重要なワードとして考えられている。

昼の時間だけでなく、仕事終わりなどの夜の時間帯を
活用することで繁華街の活性化が見込まれる



夜のオリオン通り(左)と泉町通り(右)の様子

背景 中心市街地における繁華街

3

オリオン通り周辺

- ・ アットホームでよい
- ・ いろいろな店がある
- ・ 代金が安い
- ・ 少し寂しくなった

泉町・本町周辺

- ・ 静かでよい
- ・ いつも飲みに来ている
- ・ 飲みの代金が高い
- ・ 駅から遠い、LRTがあれば行くかも
- ・ 店を知らないなので情報が身近に欲しい

菅野健：夜の繁華街特性と来訪者の活動実態と意識（2019）

現状

繁華街として、それぞれ異なった特色がある

繁華街のもつ「特色」を生かしてもっと活性化できないか？

背景 新型コロナウイルスの流行

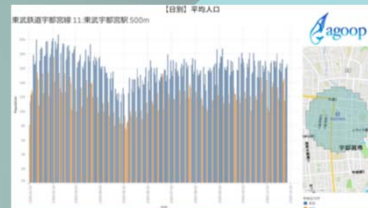
4

コロナ後の個人の24時間の使い方

活動種別	場所における、新型コロナウイルス流行からの外出場所の変化率 (注)「外出」(調査対象)の割合を示している。「自宅」(調査対象)の割合を示している。			
	自宅周辺	勤務地・学校周辺	自宅から離れた 中心・中心市街地	郊外
1 食料品・日用品の買い物	3%	3%	-2%	-1%
2 食料品・日用品以外の買い物	4%	3%	-2%	-1%
3 飲食	11%	-2%	-12%	-2%
4 娯楽・休養・子どもの遊び等の 憩い(娯楽・休養・月見)	5%	0%	-2%	-2%
5 外出先(コンサート・スポーツ観戦等の 娯楽・娯楽)	11%	2%	-12%	-2%

出典：国土交通省
新型コロナウイルス流行前、緊急事態宣言中、宣言解除後の3時点で
個人の24時間の使い方を把握した全国初のアンケート調査

オリオン通りの交通量比較



出典：Agoop 新型コロナウイルス特設サイト

現状

新型コロナウイルスの流行は繁華街の衰退に大きな影響を与えている

繁華街は夜間の余暇活動を営む場として無くてはならない場

背景 宇都宮市のアプリ

5

宇都宮市に関するアプリ一覧

- ・宇都宮市観光アプリ
- ・ゴミ分別アプリ
- ・移住・定住アプリ
- ・うつのみや健康ポイント



出典：宇都宮市HP

宇都宮観光アプリ

【機能一覧】

- ・リスト一覧
- ・スタンプラリー
- ・かざしてさがす
- ・旅の軌跡
- ・お気に入り
- ・周辺検索



出典：宇都宮市HP

現状

主に宇都宮へ観光等に来た人向けへのアプリ
 地元に住む人が使うメリットは少ない
 また、予約や割引券発行などの機能はない

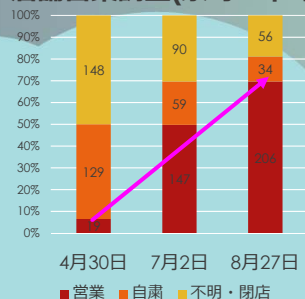
調査 泉町・本町通行量調査、店舗調査

6

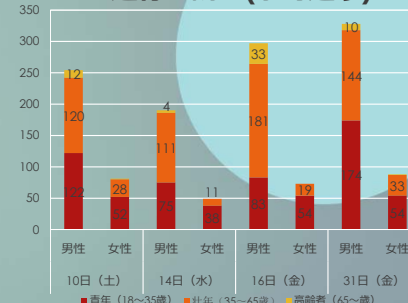
泉町・本町の現状把握

通行量計測の結果、歩行者の8割は男性
 35歳～65歳の歩行者が比較的多い ↓

店舗営業調査(泉町・本町)



通行量調査(泉町通り)



↑ 泉町・本町における店舗の数を調査し営業の有無を調査
 営業自粛により4月時点では全店舗の2割が営業
 8月の時点で営業店舗は7割程度まで回復した

泉町・本町の現状把握

通行量計測の結果、歩行者の8割は男性
35歳～65歳の歩行者が比較的多い ↓

店舗営業調査(泉町・本町)



通行量調査(泉町通り)



コロナ化の影響により繁華街の
活気に多大な影響が出ている

↑ 泉町・本町における店舗の数を調査し営業の有無を調査
営業自粛により4月時点では全店舗の2割が営業
8月の時点で営業店舗は7割程度まで回復した

目的と提案 ～中心市街地における繁華街の活性化～

目的

- ・それぞれ異なる特徴を持った繁華街を何らかのシステムでつなぎ、回遊を促すことで、中心市街地における夜間の余暇を過ごす場として、一体感と独自性を生み出す。
- ・新たな生活様式を踏まえた繁華街の在り方を考察する。

提案 『繁華街FANをつないで、FUNがいっぱい』

中心市街地において

- ・夜間の余暇活動を、さらに魅力的なものにするためのアプリの提案
- ・繁華街に市民を誘致するためのイベントの提案

提案内容

新たなイベントの提案

9

光を組み合わせた飲食空間のデザイン

低未利用地の活用

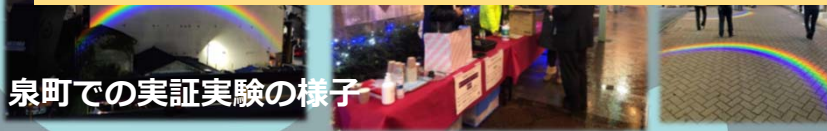
- 空地や駐車場、空きテナントを活用した飲食スペースの確保
- 車両通行禁止エリアの屋外テラス化

ライトアップ等の光演出

- 光演出を用いた空間の演出
- 壁面に映像等を照射し、屋外でも楽しめる空間をつくる

これらを市街地全体で同時に開催し
一体感のある夜の街を創出

泉町での実証実験の様子

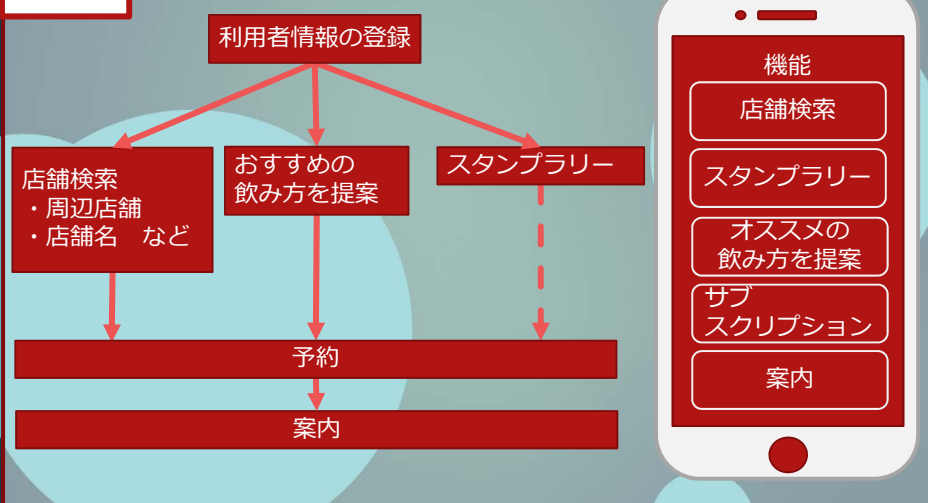


提案内容①

夜のまち歩きアプリの提案

10

搭載機能



提案内容①

夜のまち歩きアプリの提案

11

アプリに期待される効果 その1

スタンプラリー機能

イベント会場をスタンプに設定し、対象エリアの隅々まで移動を促進

(非接触で実施が可能なARスタンプラリー)

景品としてエリアのお店で使えるクーポンを発行

「普段行かなかったエリア・お店へ足を運ぶ」

「ついでにお店に入って飲み食いを行う」などの効果が期待できる。



提案内容①

夜のまち歩きアプリの提案

12

アプリに期待される効果 その2

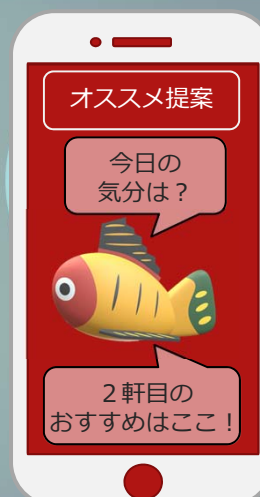
オススメ提案

日常の飲酒行動をもとに健康状態をモニタリング
おすすめの飲み方、二軒目の飲み方をアドバイス

価格帯、帰る時間、気分、雰囲気、利用用途、
人数、誰と行くかなどを質問し、おすすめのお店を提案

利用者に新たなお店を知ってもらい、「常連客の獲得」の効果が期待できる。

お店の混み具合などから、空いているお店を提案し、密になることを防ぐ効果が期待できる。



提案内容①

夜のまち歩きアプリの提案

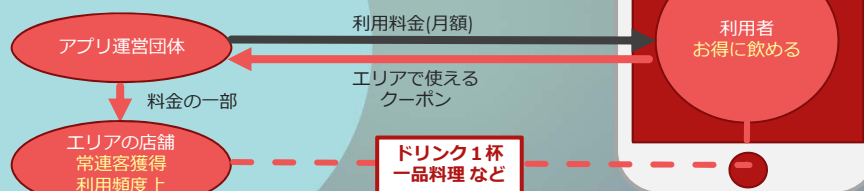
13

アプリに期待される効果 その3

サブスクリプション機能

月額制で来店ごとにドリンク1杯や一品料理などを提供

利用頻度が増えることで「飲み食いをする頻度の増加」「新たな常連客の獲得」が期待できる。



提案内容①

夜のまち歩きアプリの提案

14

アプリに期待される効果 その4

酔っ払いにも優しい情報提供

A R 技術を用いた道案内
一緒に A R でまちの情報を付加

帰宅情報を通知

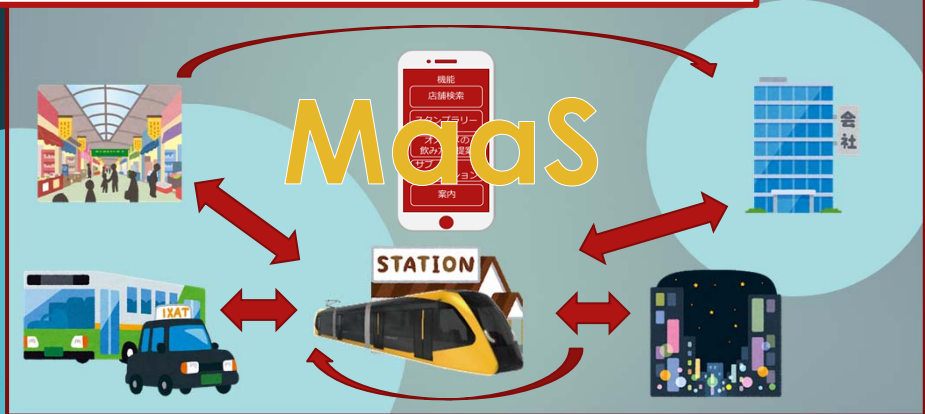
スムーズに目的地に誘導する。
感覚的に情報を得ることができる。
バス・電車に乗り遅れるといったハプニングを防止する。

このルートで帰りましょう

今日はお酒は控えましょう



LRTを中心とした中心市街地全体の回遊性向上



飲食店の決済方法やLRT等の交通手段案内をシステム化し利便性や回遊性の高い中心市街地を目指す！！